

令和3年3月1日     メルボルン交流抄

メルボルン着任後、2週間の隔離とその後のロックダウンを含め、早や一ヶ月が経ちました。その間にも日本とオーストラリアを結びつけるいろいろなことがありました。

先般のテニスのオーストラリア・オープンが COVID19 対策の点でこのようなスポーツ大会開催の素晴らし成功例の一つになったと思います。テニス・車椅子テニス関係者、及びビクトリア州政府を含む地元関係者の努力と協力の賜物であり敬意を表します。そして、その中での日本選手の活躍、特に大坂なおみ選手の女子シングルスでの優勝はここメルボルンにお住まいの日本人の皆様のみならず、日本中の皆様に勇気と元気を与えるものとなりました。皆様の応援に応えてくれた大坂なおみ選手、そして、コロナ禍の中頑張ってくださった選手の皆様に、「感動をありがとう！ぜひ、また来年、このメルボルンに、戻って来てください。」と言いたいです。

また、例年の天皇誕生日レセプションもオンラインとなりましたが、その中でもビクトリア州のみならず、南オーストラリア州やタスマニア州からも心のこもった首相のメッセージをいただき、絆の輪が広がったように感じています。今後の宇宙分野や水素等様々な分野での協力の発展を確信することが出来ました。

さらに、今般行われましたオンラインによる初めてのメルボルン・ジャパニーズ・サマー・フェスティバルも、「Kizuna, We together」をテーマに日本とオーストラリアの絆の強さと深さを示す素晴らしいイベントでありました。メルボルンが醸し出す家族や親族のような繋がり (kinship) を感じ、このようなコロナ禍で”we together”で頑張ろうという熱い思いに感銘を受けました。双方の関係者皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

今後も日本とオーストラリアの関係強化に少しでも繋がるよう、また、当地におられる日本人の皆様が安全に安心して楽しく暮らせるように努めていきたいと思っております。

また、皆様にお会いできる機会を楽しみにしています。

島田順二